



2025(令和7)年度試作問題公表される

◆出題教科・科目・配点が明らかに

去る11月9日、大学入試センターは2025(令和7)年度からスタートする大学入学共通テストの試作問題を公表しました。現高校1年生から実施されている新教育課程に対応するかたちで、出題教科や科目、一部科目の試験時間などが変更されています。2年生は進学準備等で浪人した場合は、旧教育課程履修者に対する経過措置に従って受験することになります。

◆公表内容の要点(主な追加・変更事項)

国語・大問を1つ追加して5問構成。時間は90分に。配点は現代文110点、古典が90点。

- ・大問別配点ー第1問(現代文)45点、第2問(現代文)45点、第3問(現代文)20点、第4問(古文)45点、第5問(漢文)45点

◎多様な力を問うため言語活動の過程をより重視した問題を第3問に追加

地理歴史・公民・必履修科目で構成された「地理総合、歴史総合、公共」(下表(a))の各科目配点は50点 → 3つのうち2つを選択解答する

- ・残り5科目(下表(b))は地理総合、歴史総合、公共が各25点、地理探究、日本史探究、世界史探究、倫理、政治・経済が75点
- ・2科目選択の場合(文系選択者に多い)は制限あり

地理 歴史	『地理総合、地理探究』 『歴史総合、日本史探究』 『歴史総合、世界史探究』 『公共、倫理』 『公共、政治・経済』	・左記出題科目の6科目のうちから最大2科目を選択し、解答する。 ・(a)の『地理総合、歴史総合、公共』は、「地理総合」、「歴史総合」及び「公共」の3つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答する(配点は各50点)。 ・2科目を選択する場合、以下の組合せを選択することはできない。 <u>(b)のうちから2科目を選択する場合</u> 『公共、倫理』と『公共、政治・経済』の組合せを選択することはできない。 <u>(b)のうちから1科目及び(a)を選択する場合</u> (b)については、(a)で選択解答するものと同一名称を含む科目を選択することはできない。(注2) ・受験する科目数は出願時に申し出ること。	1科目選択 60分(100点) 2科目選択 130分(注3) (うち解答時間120分 (200点))
	『地理総合、歴史総合、公共』 →(a) (a):必履修科目を組み合わせた出題科目 (b):必履修科目と選択科目を組み合わせた出題科目		
公民			

数学・「数学Ⅱ・B・C」は必答問題で配点52点。選択問題(数列、統計的な推測、ベクトル、平面上の曲線と複素数平面)で各大問の配点は16点で、4問のうちいずれか3問を選択解答(16点×大問3つ=48点)

情報・配点は100点

<経過措置>・経過措置問題の出題は地理歴史、公民、数学、情報(国語、理科、英語は経過措置問題なし)・数学②(旧数学Ⅱ・B等)の試験時間は70分

今年度中に、各大学より共通テスト利用教科・科目が予告されます。1年生は志望分野の大学がどのような教科・科目を課し、どのくらいの配点をするのか留意しながら、約2年後の受験の姿をイメージしていきましょう。

12月の目標

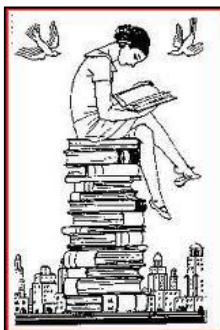
1年生 2学期をふりかえり、学習習慣を見直す

2年生 保護者懇談期間を利用し、3年0学期への見通しをもつ

◆ 探究のまとめに向けて

1年生は先週ディベートの最終戦を行いました。“宿題は廃止されるべきだ”に対し、クラス対抗で知的なバトルを繰り広げました。みなさんが身につけた論理的思考は、新課程入試の「情報」をはじめめとして、あらゆる場面で求められる力となります。

2年生も探究活動と志望理由書の作成に忙しいことと思います。探究は来年2月のまとめに向けて、分野担当の先生方からの助言やアドバイスを参考に、スライドやプレゼンテーションの再考をしてください。インターネットや本の情報を貼り合わせただけの（いわゆるコピペ）ものは説得力が弱く、探究的な見方は身につけません。物事を調べ、検証し、その大変さや大切さを理解する中で、研究方法を身につけましょう。自己の進路に関する学習を通して、自己理解や将来の在り方・生き方を考える内容になっていますか？



◆ 読書旬間中です

11/28（月）～12/9（金）は本校の読書旬間です。教科学習や探究活動をより深めたり、新たな興味や関心を刺激したりするような書籍と出会いましょう。保護者懇談会の午後等を有効活用して、図書館に足を運びましょう。

◆ 成績会議（12/7（水））・保護者懇談会（12/16～12/22）

2学期の成績や生活を振り返り、保護者懇談期間中の学習計画を立て、3学期や学年末に向けての見通しを立てましょう。2年生のみなさんは、“2年3学期＝3年0学期”を意識し、英数国の基礎固めを始めましょう。保護者の皆さま、懇談会ではお世話になります。

◆ 年末年始休業（12/26～1/4）

12/24（土）・25（日）を含めて、12日間の冬休みとなります。家族で穏やかな時間を過ごすとともに、来年への英気を養う休みとしましょう。課題は早目に終わらせ、休み明けの実力テスト（1/5・6）に向けた学習を計画的に進めてください。

今月の3年生 「共通テストに向けて慕地（まっしぐら）」

共通テストに向けた特別編成授業も3週目に入りました。3年生は85分×4コマの日課にも慣れ、確実に地力を高めています。先月末には全統プレテストが行われ、残る全国模試は今週末の駿台プレテストのみとなります。実力が数字になって表れてくるのはここからです。ガンバレ3年生！

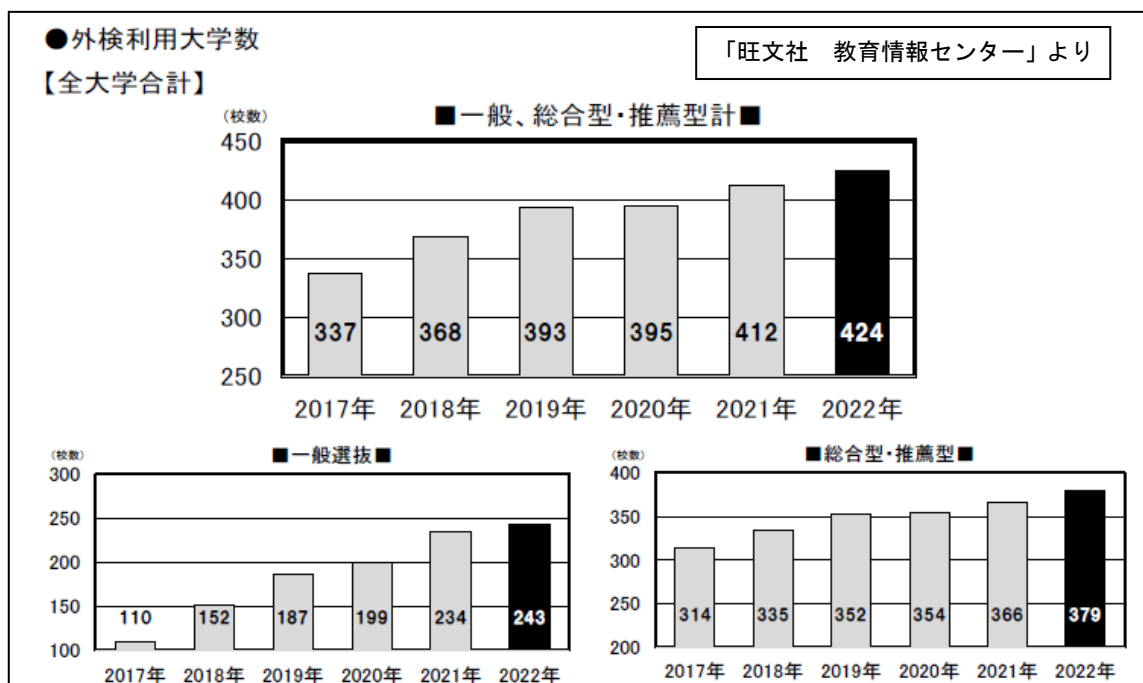
12月	
1木	
2金	
3土	○
4日	○
5月	
6火	A
7水	5分短縮
8木	
9金	
10土	○ 駿台プレ[3]
11日	○
12月	
13火	P
14水	
15木	
16金	①②③
17土	○ 小論文模試[3]
18日	○
19月	①②③
20火	①②③
21水	A ①②③
22木	①②③
23金	④⑤⑥終業式
24土	○
25日	○
26月	○
27火	○
28水	○
29木	○ 閉庁日
30金	○ 閉庁日
31土	○ 閉庁日

(午前3時間授業)
保護者懇談期間

英語外部検定試験を上手に活用しよう

◆外検入試利用受験は増加傾向が続く

入試改革2年目であった昨年度（2022年度）入試において、前年以上に英語外部検定利用入試（外検入試）を実施する大学が増えました。今後もこの傾向は続いていくと思われます。2022年度の一般選抜・学校推薦型・総合型において、何らかの形で外部検定を利用した入試を行った大学は424大学（全入試合計）で、大学全体の55.6%を占めています。文系・理系を問わず必要になる英語は、2年生までに基礎を押さえておくことが志望校合格のための近道と言えます。本校を会場として外部検定試験は実施していませんが、改めて概要をきちんと押さえ、英語力の向上と併せて上手に利用しましょう。



◆外部検定試験の利用方法

1 **出願資格**—出願条件として、各大学が指定する外部検定の級やスコアの保有を義務づけているパターンで、この場合は英語の独自試験を免除されることが多いです。例えば、私立大の一般選抜であれば、独自試験を英語以外の教科に絞った対策が可能となります。

例) ・東京海洋大—海洋生命科学部、海洋工学部、海洋資源環境学部【前期・後期】

英検準2級以上などの所定の資格等を保有していることを出願資格とする

・青山学院大—国際政治経済学部【一般選抜（個別学部日程B方式）】

英検準1級以上などの所定資格等を保有していることを出願資格とする

・上智大学—全学部【一般選抜（TEAPスコア利用方式）】

大学独自の英語試験は行わず、代替としてTEAP（上智大学と日本英語検定協会が共同開発した英語検定試験）のスコアを英語の得点として利用する

2 **得点換算**—保有している外部検定の級やスコアのレベルが、共通テストや独自・個別試験の点数に換算されます。

- 例) 英検準2級を持っている ⇒ 英語の個別試験の「70点」に換算
 英検2級を持っている ⇒ 英語の個別試験の「80点」に換算
 英検準1級を持っている ⇒ 英語の個別試験の「100点」に換算 など

※外部検定の級やスコアを保有していても、大学独自の英語試験を受験する大学もありますが、その場合はどちらかの成績の良い方で判定されることが多いです。

例) 九州大-共創学部【前期】

英検2300以上などの資格レベルに応じて、共テの英語の得点を満点(200点)に換算。

3 **加算**—受験生が保有している外部検定の級やスコアに応じて、個別試験の得点に対して決められた点数が加算されるパターンです。得点換算と同様、英語力に自信がある受験生にはメリットがあります。

例) 早稲田大-国際教養【一般選抜(共テ・独自試験併用)】

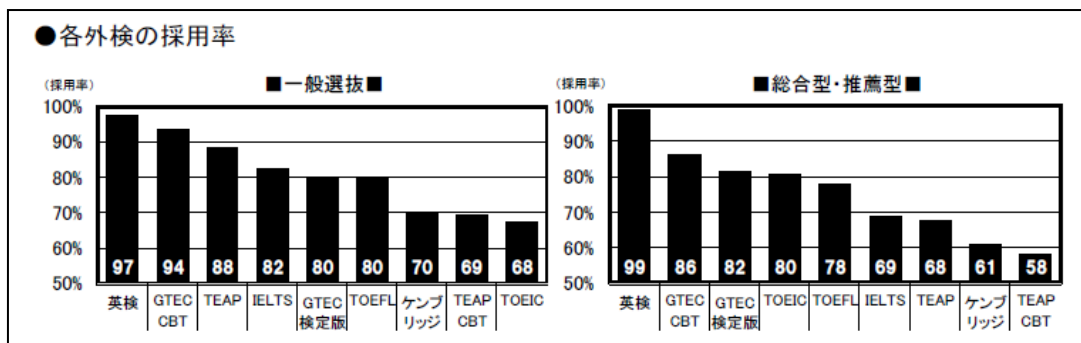
英検2級を取得していればスコアに応じて、独自試験(英語80点)、共テ(国語50点、選択1科目50点)の総合得点に7~20点を加点する。

4 **判定優遇・合否参考**—大学が指定する外部検定の級やスコアを保有している場合、1次試験や最終選考などで出願書類の評価や合否の判定における優遇が得られるというパターンです。例えば・・・「英検2級以上=合否判定の参考とする」など。

※選抜方法により、どのパターンで利用されているかがけっこう異なります。一般選抜では「得点換算」が最も多く、全体の約6割に達している一方、学校推薦型・総合型では「出願資格」が過半数近くを占めています。

◆外部検定試験のどれを選べば良いか

やはり、いずれの入試でも採用率が最も高い「実用英語技能検定(通称：英検)」がおすすめです。他の外検試験と比べて検定料が比較的安く、試験会場が近いことも理由として挙げられます。英検2級を取得していれば、出願の際に汎用性がぐっと高くなります。



◎今年度の従来型英検は第3回検定(一次試験日：1月22日)がラストチャンス！

個人申込〆切日：12月15日(木) ※インターネットかコンビニエンスストアにて。